

<基本情報>

所在地：福岡県田川郡赤村

<農場概要>

- 面積：2.6 ha (全て有機JAS認証)
- 従業員：25人 (役員を含む)
- 水稻及びトマト、ミニトマト、セルリー等 (ハウス栽培)
- 生産したトマトを原料に加工品を製造・販売。



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 人間・環境に優しい農業の創造とこのような農業を広く社会にアピールし、農業の社会的役割や農業者の社会的地位の向上に貢献すること、地域の生産の核となり地域再生・地域雇用を生み出し地域のモデルとなることを目的として有機栽培を開始。

<販売について>

- 販売する全商品が有機JAS認証品。生産したトマトを使用し加工品(ケチャップ等)の製造・販売も行っている。
- 有機JASの小分業者認証を受け、販売先からの要望に沿った形態で自社包装対応を行い、好評を得ている。
- 販売先はグリーンコープを中心に、イオングループ等約20社と直接取引(販売先への品数・ロットについては、連携を組む生産法人からの仕入れにより確保している)。
- 有機セルリーは、大手スーパーから直接取引のオファーが入るまでになっている。
- 経営管理ソフトを導入し、生産コスト等を管理することで、販売先との価格交渉を実施している。



<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**
病害虫の対策としては、有機農産物にも使用可能なBT剤、土壌改良剤、天敵を使用。トマト等の受粉にはクロマルハナバチを活用。
- **雑草対策**
施設内ではマルチシート、除草は機械と手作業。
- **土づくり**
牛糞2：草8をベースに有機物や乳酸菌等を混合した堆肥を使用して土作り。5年程度で病気の減少と慣行栽培と同程度の収量達成。

<苦労しているところ>

- 資材費、運送経費等の抑制。

<現場の課題>

- 資材・燃料費、人件費、物流経費などの高騰への対応。
- 地域の耕作放棄地増加等の荒廃農地対策。

<今後の対応>

- 生産技術体系を確立し、安定的な生産を確立するとともに、次世代へ引き継げる経営の確立。
- 生産規模を拡大し、収益の向上を目指す。

【お問合せ先】TEL.0947-62-3349

会社ホームページ <https://www.torigoe-network.com/>